

焼津地区 水産物流通機能高度化対策事業の概要

(地域水産総合衛生管理対策推進事業基本計画からの変更部分)

1 . 趣 旨

既設岸壁の増深による大型海外まき網漁船の接岸に対応するとともに、岸壁背後に、衛生管理に配慮した高い処理能力を備えた荷さばき施設を設置することで、効率的、衛生的な漁獲物の水揚げ作業を推進し、高品質な水産物の安定供給を図る。

2 . 事業内容

- 海外まき網漁船の大型化に対応するため、既存の - 7m 岸壁を改良し、 - 9m に増深する。
- 大型海外まき網漁船が接岸可能な岸壁と、従来よりも処理能力を高めた新たな荷さばき施設を一体的に整備し、漁獲物の水揚げ作業の効率化を図る。
- 新たな荷さばき施設では、衛生管理のための施設整備を進めるとともにソフト対策との一体的な運用により、高品質な水産物の安定供給を図る。

	○ 事業期間：H20 ～ H25 ○ 事業主体：静岡県、焼津漁業協同組合
事業内容	○ 大型海外まき網漁船の接岸を可能とする、岸壁の - 9m 増深化 ○ 水産物荷さばき施設新設 ・ 処理能力を高めた自動選別機の導入 ・ 漁獲物の衛生管理を推進するため、車両侵入を防止する床の嵩上げ、異物侵入を防止する腰壁、等を整備

焼津地区水産物流通機能高度化計画 特定3種 焼津漁港（静岡県）

【位置図】



【計画方針】

既設岸壁の増深による大型船接岸へ対応するとともに、岸壁背後に、衛生管理に配慮し高い処理能力を備えた荷さばき施設を設置することで、効率的、衛生的な漁獲物の水揚げ作業を推進し、高品質な水産物の安定供給を図る。

【計画内容】

事業期間：H20～21
事業主体：静岡県
事業内容：- 9m西岸壁120m

事業期間：H21
事業主体：焼津漁業協同組合
事業内容：水産物荷さばき施設

【現状と課題】

○ 焼津地区は古くから水産業が盛んであり、「遠洋漁業のまち」として全国的に知られている。江戸時代よりかつお漁業の形態を整えており、平成18年は全国2位、平成17年までの水揚数量は4年連続で全国1位という実績を有し、特にかつお、まぐろは我が国の取扱量の中で高いシェアを占めている。

● 海外まき網漁業の漁船の大型化が世界的に拡大しているが、焼津地区には大型船に対応した水産物荷さばき施設が無いため、大型船の大量の漁獲物を迅速、効率的、衛生的に荷さばきすることが困難となっている。

【鳥瞰図または平面図】



【新施設イメージ図（荷さばき施設 断面図）】

